

総務 常任委員会

インフルエンサーを活用し、本市の魅力を発信 移住定住の促進を図る

白河市部設置条例の一部を改正する条例のほか議案8件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第4号 白河市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業を取得しやすい勤務環境の整備が義務付けられた

Q | 市職員おける育児休業の状況は？

A | 令和3年度現在、正職員の育児休業取得者は、男性が1名、女性が22名である。職員向けの「子育て支援ハンドブック」を有効活用し、出産・育児に関する各種制度の理解や周知を図りながら、引き続き育児休業等の取得促進に努めていきたい。

● 議案第19号 令和4年度白河市一般会計予算

ふるさと納税寄附額の目標を7,000万円に

Q | ふるさと納税の実績は？

A | 令和元年度は3,731万1,000円、令和2年度は4,336万8,000円である。令和3年度は寄附額を増やすための様々な努力を重ね2月末現在で5,000万円を超えている状況にある。令和4年度は、7,000万円を目標に、引き続き様々な取り組みを通して地元産品を知っていただくとともに、本市の魅力を積極的に発信したい。

● 議案第19号 令和4年度白河市一般会計予算

インフルエンサーがおためしで市内に居住し、本市の魅力を発信する

Q | 移住・定住推進事業について

A | 首都圏などで活動するインフルエンサー（世間に与える影響力が大きい人物）に市内でおためし居住してもらい、その様子をYouTubeで配信することで、本市の暮らしやすさや魅力を発信し、県内外からの移住、定住の促進を図りたい。

● 議案第19号 令和4年度白河市一般会計予算

予約型乗合タクシーの利便性向上のため、庁舎での予約やLINEによる予約システムの導入を検討

Q | 予約型乗合タクシー実証実験の利用状況は？

A | 令和3年度の利用者（11月末現在）

表郷地域	・・・	利用実績なし
大信地域	・・・	30便、30名
東地域	・・・	154便、344名

今後は各地域の利用状況に応じ、目的地や運行便数などを見直すほか、庁舎での予約やLINEによる予約システムの導入も検討し、さらに利便性の向上に努めていきたい。





議会で話し合う内容は幅広く複雑です。すべてを本会議で審議することは効率的ではないため、4つの委員会
会で各専門分野の議案などについて審査しています。議員はそれぞれ1つの委員会に所属しています。

市民産業 常任委員会

犯罪被害者等への支援を総合的に推進

白河市災害見舞金等支給条例の一部を改正する条例のほか議案7件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第10号 白河市犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等に見舞金を支給

Q | 想定される犯罪行為及び具体的な支援策について

A | 県では、殺人、強盗致死傷、傷害、強制性交等、強制わいせつ、危険運転致死傷等の故意の犯罪行為を想定しており、市も県と連携し、対応していくことから、同じものになると思われる。見舞金の額やその他必要な施策など、詳細については、施行規則に定めることになる。

犯罪の被害を受けた人々への支援を総合的に行うとともに、被害の軽減や生活の再建ができるようにするなど、安全で安心して暮らすことができる地域社会を実現するために制定されたもの。

クローズアップ
アップ案例
4/1施行

● 議案第30号 令和3年度白河市一般会計補正予算(第11号) (戸別受信機負担金について)

個人だけではなく、事業所への貸与も行っている

Q | 防災ラジオの普及状況はどのようになっているか

A | 白河地域が22.8%、表郷地域が67.2%、大信地域が56.6%、東地域が64.3%、市全体で31.4%であり、今後も市ホームページや防災出前講座、町内会連合会を通じてさらなる普及を目指したい。



● 議案19号 令和4年度白河市一般会計予算(緊急^{しゅんせつ}浚渫推進事業)

優先度の高いため池から浚渫工事を行う

Q | 浚渫するため池及びその選定方法は

A | 決壊や溢水した場合の危険度や堆積土砂の比率を表す堆砂率により取り組みの優先度を選定する。令和4年度は、「夏梨池ナンバー2」、「庭渡(にわたり)池」、「前田池」の3ヶ所の「ため池」について土砂浚渫工事を行う予定となっている。



施工前



施工後

市内の学校図書館に更なる蔵書の充実をはかる

白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例のほか議案11件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第9号 白河市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例

表郷デイサービスの休館日を変更

Q | 休館日が変わることで利用者に支障をきたすことはないか

A | これまで、表郷デイサービスセンターの休館日は土曜日であったが、比較的利用者の少ない日曜日へと変更するもの。事前に利用者に調査し、不利益をこうむる利用者はいないことを確認している。

● 議案第14号 白河市公民館条例の一部を改正する条例

白河市中央公民館の各分館を廃止

Q | 改正の内容を伺う

A | 公民館の各分館は、既に各行政センター内に設置されており、公民館としての位置付けを廃止し整理するものである。関連分館のみ解体し更地にする予定である。

● 議案第19号 令和4年度白河市一般会計予算

未来を担う子供たちのために

Q | 学校図書館利活用推進事業について

A | 児童生徒の読書を推進する目的で、各学校図書館に司書を配置し、更なる蔵書の充実をはかる。デジタル化が進むなかにおいても、本の重要性を伝える。

インフルエンザの発症と重症化を防ぐために拡充して行う

Q | インフルエンザ予防接種費用助成事業について

A | 感染症対策と子育て支援の拡充を図るため、これまで受験を控える中学3年生に実施してきたインフルエンザ予防接種費用助成（1回：2,500円）の対象を（生後6ヶ月以上）中学生以下と重症化リスクの高い妊婦に拡大する。

現地調査

ICT教育

令和4年1月19日、小野田小と白河中央中学校に伺い、タブレットを使った授業を見学しました。これまでの詰め込み型の学習とは一変し、先生と生徒達が意見や答えを瞬時に共有できる画期的なものでした。

今後はこれらを上手に使いこなすスキルアップが求められます。



小峰城清水門は令和6年度中の復元を目指す。 「小峰城一石城主プロジェクト」を周知する。

白河市旧脇本陣柳屋旅館建造物群条例の一部を改正する条例のほか議案10件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

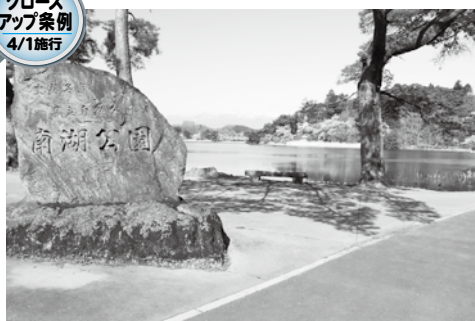
● 議案第15号 南湖条例

南湖を次世代へつなぐため

Q | 条例を制定する意義と、南湖の環境保全及び水質について

A | 国道294号白河バイパスが開通することで交通のアクセスが劇的によくなる。条例を制定し明文化することで、南湖が白河の宝であると改めて認識することができる。今後も南湖の魅力を発信する各種事業を展開する。また、南湖という宝を磨くため、環境保全や水質など改善すべき課題の把握、適切な管理方法や水質浄化の方策について、引き続き取り組む。

クローズアップ
条例
4/1施行



「土民共楽」の理念のもと、松平定信によって1801年に築造された公園に南湖条例誕生（詳しくは20頁）

● 議案第30号 令和3年度白河市一般会計補正予算（第11号）

清水門は令和6年度中の復元を目指す

Q | 小峰城清水門復元の進捗状況と今後の予定は

A | 建築にかかる総費用はおよそ6億円で、そのうち「小峰城一石城主プロジェクト」で15万石、1億5千万円を目標に寄附を募っており、現在の石高は、4万6千石である。引き続き周知し、多くの支援と協力をお願いする。復元予定は令和2年度、3年度に基本設計を、令和4年度に実施設計を、令和5年度、6年度に建築工事を計画しており、令和6年度中の復元を目指している。

現地調査

国道294号白河バイパス一部供用開始

国道294号白河バイパス「小峰大橋」の渡橋式が3月6日に行われ、橋を含む葉ノ木平から薄葉までの約1.2kmが開通したことから、3月8日に視察を行いました。全長192mの立派な大橋が架かり、今後の全線開通が楽しみです。



トピックス

市道 三輪台大倉矢見線開通式

令和4年3月28日(月)に市道三輪台大倉矢見線（737m）の開通式が行われました。この道路の開通により、県道白坂停車場小田倉線から新白河ライフパークや新白河ビジネスパーク、国道294号へのアクセスの利便性が向上しました。また、通学路の安全性も図られました。

